



第2回 研究主任会

8月1日(木)、中央公民館で第2回研究主任会を開催しました。一般社団法人教育のための科学研究所上席研究員の目黒朋子氏よりお出でいただき、RS(リーディングスキル)ノートの指導法とRST(リーディングスキルテスト)の分析方法についてご指導いただきました。以下、参加者の感想の一部をご紹介します。



- ・教科書とノートがあれば手軽に取り組める視写の方法を教えてください、子どもたちのRS向上のために2学期から取り入れていきたいと思いました。
- ・「学習周辺活動」の認知負荷を下げるためのトレーニングとして、RSノート、RS課題に取り組んでいく、という考え方が理解できました。夏季休業中に校内の先生方に伝達し、音読、視写中心に指導していきたいと思います。RSTの結果分析の仕方も教えていただけて勉強になりました。

今回の目黒氏の講演動画を、9月末までの期間限定で燕市教職員限定HP「つばめつながる広場」にアップロードしました。ご覧いただき、各校における取組にご活用ください。

RSTの結果の分析と活用

実施したRSTの結果をもとに全体の傾向を把握し、それを活用した取組を進めていくことが大切です。市教育委員会では、8月19日(月)の定例校長会において、令和6年度のRSTにおける市全体の結果を伝えました。各校で結果を共有していただき、市全体の傾向を把握していただくとともに、自校の実態の把握と分析に役立てていただきますようお願いいたします。

なお、第2回研究主任会において、各校の研究主任が自校のRSTの結果を分析して課題を見だし、解決策を考えました。考えた策を共有・検討し、各校での取組をお願いします。

【研究主任が考えた課題解決策】(一部抜粋)

- ・照応解決を高める取組が必要。視写や音読、指示語を問う課題などに全校で取り組む。研推から実践例を示した上で、授業や自主学習でどんな実践ができそうか話し合う研修を行う。
- ・授業の中で、あえて難しい言い回し(学習言語)を読んだり書いたりさせて、テストでも学んだことを活かせるようにする。

第2回・第3回 中学校RSノート部会

8月8日(木)と8月23日(金)に、中学校RSノート部会を行い、RS課題例の作成と検討を行いました。その中で、「RS課題例は、教員がRS課題を考える際のヒントとして活用する」「課題例を基に各自が作成した課題を市内の学校で共有できるようにすると良い」などの意見がまとまりました。各教科の部員が作成した課題例をご活用ください。



★各中学校で作成したRS課題の共有フォルダをGoogleドライブ内に作成しました。所在は下記のとおりです。各自作成した課題をフォルダの中に入れていただければ幸いです。
共有アイテム>RS課題例>各中学校作成RS課題フォルダ>各教科フォルダ
※ファイル名は、フォルダ内に示した例に従って付けるようにしてください。